

© ACG プレスリリース
— 展覧会開催のご案内 —

OAP彫刻の小径2016-2018 田中昇・西村正徳「風景のレゾナンス」

OAP Sculpture Path 2016-2018: Noboru Tanaka and Masanori Nishimura Exhibition



OAP彫刻の小径において、2名の彫刻家、田中昇(たなか のぼる)と西村正徳(にしむら まさのり)による野外彫刻展を開催します。

田中昇は1960年代より、素材の質量を感じさせない軽やかな石彫を制作してきました。風と戯れるような雨や雲、半球の表面に穴を開けた虫の棲家など、自然からインスピレーションを得たユニークなフォルムで、黒御影石の重厚な印象を覆しながら、凛とした生命感を引き出します。本展では、石の量塊を彫り進めて表層のみが残される中空の作品など、新作4点を展示します。

西村正徳は、巨大な傘に開けた無数の穴から光を透過させる《The Schoolchild Umbrella/光の雨》や、メッシュシートの重なりによるモアレ現象を体感するビニールハウス型の作品《モヤっとハウス=Symbiosis of Moire》など、環境と呼応した体験型の作品を多く手掛け、常に自然と向き合う緊張感を絶妙なバランスで内包させた作品制作を行っています。

本展では、シート材を用いて木漏れ日を演出する作品などの新作4点を展示します。

自然を見つめながら表現と現象を交差させていく田中・西村の作品は、彫刻の小径の環境や風景と共鳴しながら、私たちに日々の新たな楽しみや発見の喜びを与えてくれることでしょう。

左:西村正徳《Blossom Tunnel=光の花》ターポリン、ビニール傘、ビニールハウス骨材 | 250×450×1440cm | 2013年(撮影:鍵岡龍門)
右:田中昇《黒い雨》黒御影石 | 220×460×70cm | 1982年 | 京都国立近代美術館蔵

■作家ステートメント

・田中昇

これまで、雨、虫、花、風、水、木などをテーマに作ってきました。今回は雨であったり自然の現象を思いながら造形してみます。

・西村正徳

私たちが生きる都市や、身の回りの自然、ありふれた日常は発想の源泉となる。その中でもごく身近にある繊細でナイーブな自然の『カタチ』や『現象』に、うっとりするほど感動を覚える事がよくある。咲き誇る花や衰えを知らない雑草の姿、キラキラ地面に映り込む木洩れ日、夕暮れ時の大地、空、飛行機雲が醸し出すコントラストの美しさ。しかしそれらのカタチや現象は儚く消えて無くなってしまふもの。再現できないものかと思う。好奇心から湧き出した願望を追求することが私の作品コンセプトの根底にあり、人工物を用いながらいかに自然のもつ万能性をひきだすかという試みなのである。

■OAP彫刻の小径について

OAP彫刻の小径は、水都・大阪にふさわしい色とりどりの旅客船が行き交い、天神祭でも知られる大川を臨む水辺のプロムナード沿いに位置します。作品は一年半毎にテーマを設けて展示替えを行い、野外彫刻展としてさまざまな作家を親しみやすくご紹介しています。

【展覧会概要】

展覧会タイトル: OAP彫刻の小径2016-2018 田中昇・西村正徳「風景のレゾナンス」

会 期: 2016年11月~2018年5月

会 場: OAP彫刻の小径 (OAP公開緑地内、大川沿いのプロムナード)

イベント: アーティストトーク 2016年11月19日(土) 14:00~15:00 岸野裕人(姫路市立美術館館長) × 田中昇 × 西村正徳

主催: アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント) | 協賛: 三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com URL:www.artcourtgallery.com

田中 昇

Noboru Tanaka

1937 徳島県に生まれる
 1961 京都学芸大学専攻科彫塑卒業

|主な展覧会|

2014 田中昇 石彫展(画廊ぶらんしゅ、大阪)
 2004 個展(大阪)
 個展(名古屋松坂屋)
 2002 個展(日本橋高島屋)
 2001 個展(三田)
 1996 個展(神戸そごう)
 1995 個展「田中昇 石のレリーフ展」(番画廊、大阪)
 個展(伊丹)
 1993 個展(東京日本橋高島屋)
 1992 第13回須磨離宮公園現代彫刻展(兵庫県立近代美術館賞)
 1991 個展(大阪なんば高島屋)
 1990 第12回須磨離宮公園現代彫刻展
 1989 個展(大阪)
 石の道 いけだ彫刻シンポジウム参加(池田、大阪)
 六甲アイランドCITY彫刻展(優秀賞)
 1988 第11回須磨離宮公園現代彫刻展エスキース展
 1987 第1回倉敷まちかどの彫刻展(優秀賞)
 1985 個展(大阪)
 第11回現代日本彫刻展エスキース展(宇部、山口)
 1984 個展(神戸)
 1982 第8回須磨離宮公園現代彫刻展(京都国立近代美術館賞)
 アートナウ '82展(兵庫県立近代美術館)
 個展(大阪)
 1980 第1回びわこ現代彫刻マケット展
 1977 新制作展(新作家賞)
 関西新制作展(第30回展記念賞)
 第41回新制作展(新作家賞受賞)
 1976 須磨離宮公園第5回現代彫刻展エスキース展
 1973 甲山森林公園石彫シンポジウム参加(兵庫県)
 1969 個展(大阪/京都)
 1966 第30回新制作協会展(新作家賞)

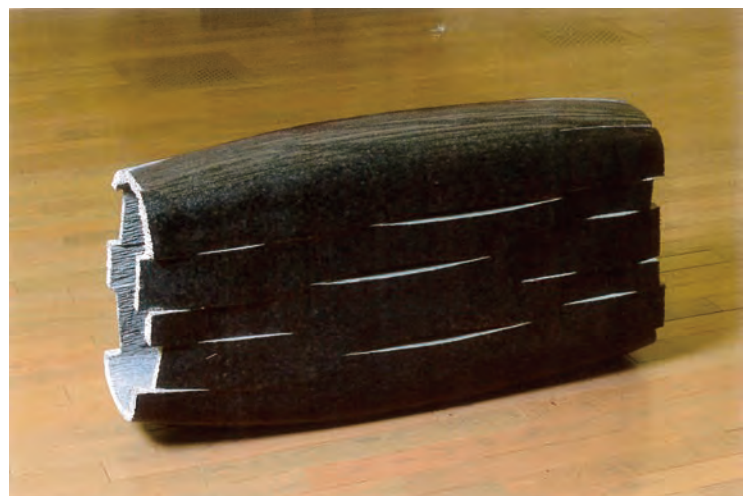
|主なコレクション|

京都国立近代美術館/徳島県立近代美術館/伊丹市昆陽池公園/大阪府血液センター/守口駅/日本住宅公団高の原団地/ノーベル製菓株式会社/大阪市東成区役所/世田谷区中町公園/倉敷市文化会館/貝塚市全盲連/池田市呉羽の里/六甲アイランドCITY/伊丹市サンシティホール/伊丹市ラスターホール/岸和田市蜻蛉池公園/西宮市甲山森林公園/西宮市夙川公園/地球環境産業技術研究所/コミュニティーセンター/赤穂市民病院/オーバルコート大崎/御成橋公園/有馬富士公園自然学習センター/神戸市兵庫区役所/尼崎市交通公園/尼崎市カリカエ公園/伊丹市大谷公園/西宮市立東高等学校/滋賀県立甲賀高等学校/奈良一条高等学校/京都光華高等学校/尼崎市立高等学校



空と風と水と「風の音」

黒御影石
 120 × 90 × 83 cm
 2008



風によって

黒御影石
 55 × 95 × 28 cm
 2015

西村 正徳

Masanori Nishimura

- 1967 愛知県小牧市生まれ
- 1990 大阪芸術大学工芸学科金属工芸卒業
- 1992 京都府立陶工訓練所卒業

|主な展覧会|

- 2015 六甲ミーツアート(六甲高山植物園、神戸)
- 2014 キラキラ・ザワザワ・ハラハラ展(横須賀美術、神奈川)
- 2013 神戸ビエンナーレ・しつらいアート国際展「Blossom Tunnel」(メリケンパーク、神戸)〈準大賞〉
- 2012 西新宿高層ビル群10daysパブリックアート展(フロントタワー、東京)
水と土の芸術祭(岩室温泉、新潟市)
注目の彫刻家3人展(アーツスペース羅針盤、東京)
- 2011 六甲ミーツアート(六甲ガーデンテラス、神戸)『10』
おおさかカンヴァスプロジェクト「光の雨」(関西国際空港、WTC、大阪)
個展「ソフトスクラブチャーMOVEMENT」(ギャラリー島田、神戸)
- 2010 西宮船坂ビエンナーレ『09』
まちなみアートフェスティバル丹波篠山
明日を担う作家展(西宮市民ギャラリー)
- 2009 Butai展 ファッションショー(ギャラリーけやき、兵庫三田)
- 2008 シスメックス庭園野外彫刻=作品コレクション(シスメックス株式会社、神戸)
- 2007 個展「光の雨」作品コレクション(ギャラリー北野坂、神戸)
大阪・アート・カレイドスコープ(大阪府立現代美術センター)
- 2004 第3回あさご芸術の森大賞展(あさご芸術の森美術館、兵庫)〈優秀賞〉
- 2002 Artist In Residence 滞在制作(Sculpture Space、ニューヨーク)
日向現代彫刻展(日向市、宮崎)〈大賞〉
第6回大分アジア彫刻展 本制作作品コレクション(朝倉文夫記念館、大分)〈優秀賞〉
- 2001 芸術祭典・京 公募「京を創る」(御室仁和寺、京都)〈優秀賞〉
- 2000 第29回現代日本彫刻展(東京都美術館/京都市美術館)〈賞候補〉

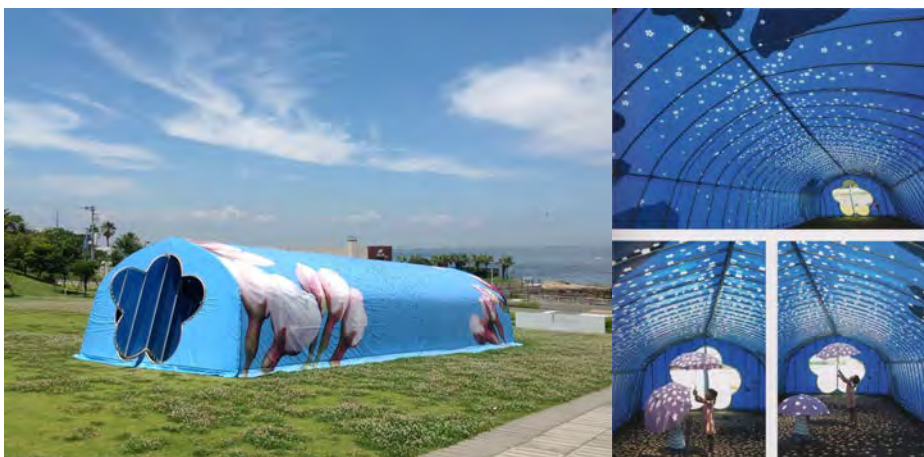
|コレクション|

朝倉文夫記念館/シスメックス株式会社/日向市文化交流センター/西宮甲武幼稚園



The schoolchild Umbrella=光の雨

ターポリン、アルミ、ステン、FRP
550 × 800 × 800 cm
2011



Blossom Tunnel=光の花

ターポリン、ビニール傘、ビニールハウス骨材
250 × 450 × 1440 cm
2013

撮影: 鍵岡龍門